

平成23年度
(第47期)

事業報告書

自 平成23年 3月25日

至 平成23年12月31日

公益財団法人 国立京都国際会館

平成23年度（第47期） 事業報告書

目 次

- I. 本年度の事業について・・・P. 1-7
- II. 会場の使用状況・・・・・・・・・・P. 8-10
- III. 自主企画事業について・・・P. 11
- IV. 理事会及び役員事項・・・・・・・・P. 12-13
- V. 評議員会及び評議員事項・・・P. 14-15
- VI. 庶務事項・・・・・・・・・・・・・・P. 16-17

I. 本年度の事業について

1. 総論

(1) 本年度の特殊性

当法人は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律等に基づき、平成23年3月24日付にて内閣総理大臣より公益財団法人として認定を受け、平成23年3月25日に登記手続を完了し、特例民法法人から公益財団法人へ移行しました。このため、平成23年につきましては、年度を特例民法法人（旧財団法人）期間分と公益財団法人期間分とに分ける必要があり、当事業報告書は公益財団法人期間（平成23年3月25日から平成23年12月31日まで）分として作成するものです。よって、当事業報告書において使用する「本年度」、「平成23年度」および「当期」という文言は、特に断らない限り、平成23年3月25日から平成23年12月31日までの期間を意味しますが、一部の統計資料においては、平成22年度との比較の関係上、上記の文言を、平成23年1月1日から平成23年12月31日までの1年間の意味において使用しております。この場合にはその旨の注記を施してあります。

(2) 東日本大震災の影響

3月11日に発生した東日本大震災に際しては、当会館においても震度3の揺れを感じましたが、地震による直接的な被害は有りませんでした。他方、大震災および福島原発事故により、キャンセル若しくは延期された国際・国内の会議は10数件に及びました。と同時に関東地域で開催予定のいくつかの会議が予定を変更し当会館にて開催されるケースもありましたが、スムーズな受入れを行うことができました。

被災地への支援に関しましては、当会館および職員有志並びに協力会社からの義援金に加えて、春の宝松庵茶会の売上げなど総額350万円を、京都新聞社会福祉事業団を通じて寄附しました。さらに、5月上旬、チャリティイベント「つながれ、ニッポン」～鎮魂と祈りの夕べ～の開催に協力しました。

(3) 多目的ホールの建設

多目的ホールの建設については、平成22年度の観光庁予算で「国立京都国際会館の拡充方策に係る基本調査およびPFI導入可能性調査」が三菱総研に委託され、平成23年3月にその報告書の提出がありました。その骨子は、①4,000㎡程度多目的ホールが最適、②PFI方式の導入、③運営事業者の選択方式は検討の要あり、④経済波及効果は大というものでした。この報告書を受けて、観光庁より事業スキームに関し当会館に説明が行われましたが、多目的ホールの建設を機に国際会館全体の管理運営主体を入札で決定すると観光庁の方針と当会館の立場との間に大きな溝があることが判明しました。その後、観光庁は、設計・施工部門と管理・運営部門をPFI事業に一本化する場合どのような態様があり得るかについて検討するため、平成24年度の政府概算要求に「国立京都国際会館の整備・運営に係るPFI事業手法調査」の経費を盛り込みました。

(4) 自主企画・広報の充実

自主企画による催事は、地域住民との結びつきを強化する上でも当会館として重要視して

います。平成23年度(1年間)においては、寺島実郎氏による講演会ははじめ、恒例の春と秋の宝松庵茶会、「乾杯の夕べ」(本年は「感謝の夕べ」～ベトナムの風を感じて～として開催)、それに初の試みとしての日本棋院との共催による囲碁名人戦を実施しました。因みに平成24年度は、「若者よ世界へ飛び出せ」講演シリーズ、また、平成25年度は、囲碁アマチュア世界選手権大会を計画中です。

また、当会館に対する理解増進と会議誘致の補助として、広報紙ICCKyoto(日本語版年4回、英語版年1回)を初めて発行しました。更にホームページの充実、新規のDVD作成を行っています。

(5) 茶室「宝松庵」の利用増

宝松庵の利用頻度を上げることは積年の課題でしたが、使用料の大幅引下げや誘致努力等により、平成22年度の16件から平成23年度(1年間)は29件に増加しました。今後は学校茶道の誘致などにも努めて参ります。

2. 会議の概要

平成23年度(1年間)に当会館で開催されました国際会議は57件、同じく国内会議等は202件で、合計259件となっています。

平成23年度(1年間)の主な国際会議および国内会議等は、以下のとおりです。

(1) 主な国際会議(参加人数1,000名以上他)

	会 議 名	開 催 期 間	参加人数
1	公益社団法人日本青年会議所2011年度京都会議	1.20～1.23	12,462
2	第34回日本眼科手術学会総会	1.28～1.30	3,650
3	地球環境の殿堂表彰式・京都環境文化学術フォーラム	2.12～2.13	1,000
4	第7回日本消化管学会総会学術集会	2.18～2.19	2,000
5	環太平洋法曹協会2011年第21回年次 京都/大阪大会	4.21～4.24	1,000
6	2011 国際分析科学会議	5.22～5.26	1,000
7	第11回日本抗加齢医学会総会	5.27～5.29	3,700
8	2011年国際電気通信会議	6.5～6.9	1,200
9	第16回RNA Society 国際会議・第13回日本RNA学会年会共催	6.14～6.18	1,026
10	第10回国際家族看護学会・日本家族看護学会第18回学術集会	6.25～6.27	2,565
11	第44回日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会	7.14～7.15	1,000
12	第23回国際血栓止血学会	7.23～7.28	4,605
13	Stroke2011(第36回日本脳卒中学会総会・第40回日本脳卒中の外科学会・第27回スパズムシンポジウム)	7.30～8.1	3,600

14	第2回プロセス化学国際シンポジウム	8. 11～8. 12	923
15	第84回日本生化学会大会	9. 21～9. 24	4, 000
16	科学技術と人類の未来に関する国際フォーラム(STSフォーラム) 第8回年次総会	10. 2～10. 4	839
17	第7回日中中学長会議	10. 13	250
18	日本睡眠学会第36回定期学術集会/Worldsleep 2011	10. 15～10. 20	2, 000
19	第27回京都賞授賞式・記念講演会・記念ワークショップ	11. 10～11. 12	6, 500
20	第3回世界信頼性保証会議	11. 13～11. 16	1, 100
21	第29回世界泌尿器内視鏡外科学会、第8回東アジア泌尿器内視鏡 学会、第25回日本泌尿器内視鏡学会総会	11. 29～12. 3	2, 335
22	第15回ILOアジア太平洋地域会議	12. 4～12. 7	600
23	日本研究皮膚科学会 第36回年次学術大会・総会	12. 9～12. 11	1, 000

(2) 主な国内会議等 (参加人数1,000名以上および自主企画等)

	会 議 名	開 催 期 間	参加人数
1	第7回全国小学校英語活動実践研究大会	1. 15	1, 400
2	第49回関西財界セミナー	2. 9～2. 10	750
3	寺島実郎氏講演会「世界の潮流と日本の進路」 (自主企画)	2. 11	450
4	社団法人京都市観光協会創立50周年記念式典	2. 14	1, 500
5	日本臨床心理士会 定例職能研修会IV	2. 26～2. 27	1, 930
6	第9回高齢者・障害者権利擁護の集い	3. 11	1, 112
7	京都精華大学2011年度入学式	4. 1	2, 171
8	第51回春の宝松庵茶会 (自主企画)	4. 3	800
9	ライオンズクラブ国際協会335-C地区第57回年次大会	4. 16	2, 000
10	東日本大震災チャリティーイベント「つながれ、ニッポン！」	5. 7	1, 000
11	国際ロータリー第2650地区2011～2012年度地区協議会	5. 14	1, 200
12	第112回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会	5. 19～5. 21	5, 108
13	第67回日本弱視斜視学会総会・第36回日本小児眼科学会総会合同 学会	7. 1～7. 2	1, 500
14	特選手織絨毯展 全国大会「洛中悠楽」	7. 1～7. 3	2, 000

15	スリーサム2011京都（眼科会議）	7.8～7.10	2,063
16	平成23年度京都府PTA指導者中央研修会	7.12	1,500
17	全国氏子青年協議会第49回定期大会京都大会	7.16	1,000
18	平成23年度 子どもを共に育む 未来づくり教育フォーラムin京都	8.8	2,500
19	efy 京都セッション2011（宗教関係サマースクール）	8.8～8.12	1,000
20	感謝の夕べ～ベトナムの風を感じて～（自主企画）	8.17～8.18	1,700
21	2011年度 全国公文進度上位者のつどいin 京都	8.28	3,930
22	第36期囲碁名人戦第2局（自主企画）	9.14～9.15	200
23	第52回日本母性衛生学会総会・学術集会	9.29～9.30	1,800
24	全日本トラック協会 全国業者大会	10.6	1,600
25	平成23年度京都府戦没者追悼式	10.11	2,000
26	第26回国民文化祭・京都2011 開会式・オープニングフェスティバル	10.29	4,000
27	古典の日推進フォーラム2011	11.1	1,800
28	医学書院主催パトリシア・ベナー博士講演会	11.19	1,043
29	文部科学省iPS細胞等研究ネットワーク第3回合同シンポジウム	11.19	1,867
30	第27回京都府消防大会	11.2	2,000
31	第7回認知症ケア専門士認定2次試験	11.27	1,000
32	第52回秋の宝松庵茶会（自主企画）	11.27	600
33	盛和塾<西日本地区>塾長例会	12.12	1,500
34	科学・技術フェスタ in 京都 2011	12.17～12.18	10,000
35	マイナビ就職セミナー	12.25	3,000

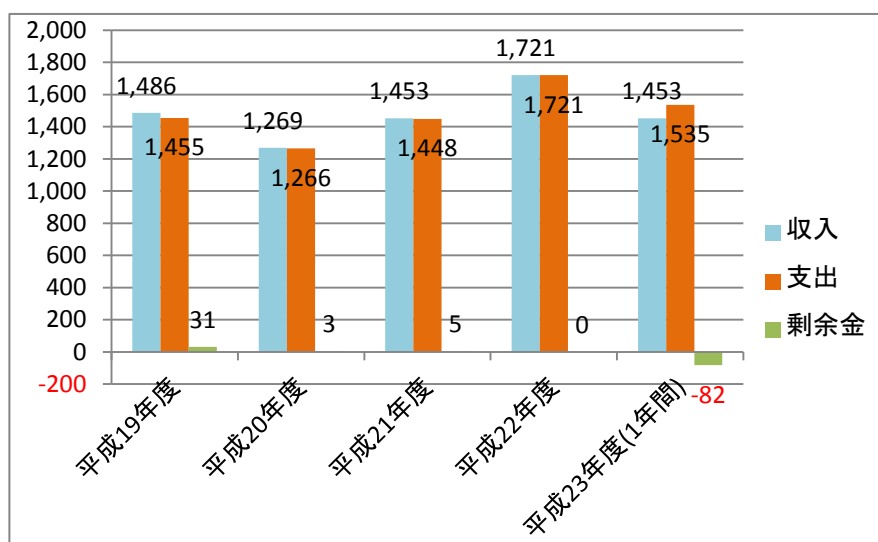
3. 収支状況

平成23年度の収支については、収入の部では、使用料収入が11億36百万円、これにその他の収入51百万円を加え、この合計が11億87百万円となっています。

一方、支出の部では、人件費が3億12百万円、委託費が1億90百万円、運営費が5億89百万円、管理費が1億46百万円、その他の費用が25百万円で、合計12億62百万円となり、収支差額が75百万円の赤字となりましたが、この赤字の処理として、前期末の繰越金から75百万円を充当することとしました。

当期の決算に特徴的なこととしては、やはり震災等の影響により使用料収入が伸び悩んだことと、近年の大きな傾向ではありますが、使用料収入の中に占める、会場料と付帯設備料（音響・映像・情報機器等の料金）との比率において、利益率の低い後者の方のウェイトが高まってきていることが上げられ、これらが収支にとってマイナスの要因となったと言えます。

(参考資料) 過去5年間の収入・支出の推移（繰越金充当前） 単位：百万円



(注) 平成22年度においては、実質的には約30百万円の繰越金が出たが、平成25年および平成26年に予定されている大規模な耐震改修工事に伴う休館に備えるための引当金を設定し、30百万円を繰り入れたため、結果として収支均衡となった。

4. 営業活動について

福島原発事故後の風評被害が大きくなり、インバウンドの観光客や国際会議の参加者が激減する中、7月開催予定の国際血栓止血学会も日本国外での開催が検討されましたが、主催者、京都府・京都市、観光庁等と連携をとりつつ、予定どおり京都で開催されるよう働きかけた結果、当会館での開催が決まりました。

また、ILOアジア太平洋地域会議についても海外での開催が検討されましたが、当会館の安全性をアピールすることで予定どおり当会館にて開催される運びとなりました。

一方、観光庁MICE人材育成事業を利用して、職員3名を海外研修、所属国際団体総会に派遣するなど、人材の育成にも力を入れました。

5. 施設整備について

[国の事業]

平成23年度（国の事業年度）分として、下記の項目が実施されています。

国土交通省 平成22年度耐震改修工事（予算額：約3.3億円）

- ① 外壁の改修
- ② 会議場耐震壁の設置
- ③ 電話交換機の更新

財務省 平成22年度維持修繕工事（予算額：約2.8千万円）

- ① Pタイル補修工事
- ② エレベーター補修工事

[会館の事業]

平成23年度（会館の事業年度：暦年）に下記の項目を実施しました。（約1.2億円）

- ① アネックスホール赤外線放射パネル取付工事
- ② アネックスホール音響設備改修工事
- ③ Room F～K照明器具改修工事
- ④ 庭園バリアフリー動線の整備
（国立京都国際会館自動扉・スロープ整備工事など）
- ⑤ ロッジ整備工事
（宿泊棟ロッジ内装補修工事、ロジエレベーターのオーバーホールなど）
- ⑥ 備品補修整備
（ロビー安楽椅子等補修工事、議席椅子塗装修理・貼替など）
- ⑦ 内装整備・防災対策等改修工事
（Room B 1, B 2ラウンジ壁面塗装改修工事、Room C 1, C 2木部補修工事およびRoom 102
- ⑧ コンベンションシステムの改良など
- ⑨ 館内誘導サインの整備（実施設計）など

(参考資料) 平成24年度に予定されている主な国際会議

	会 議 名	開 催 期 間	参加人数
1	公益社団法人日本青年会議所2012年度京都会議	1. 20～1. 22	14, 000
2	地球環境の殿堂表彰式・京都環境文化学術フォーラム	2. 11～2. 12	1, 000
3	第85回日本薬理学会年会	3. 14～3. 16	2, 700
4	2012年IEEE音響音声信号処理に関する国際会議	3. 25～3. 30	1, 700
5	第85回日本整形外科学会学術総会	5. 17～5. 20	10, 000
6	第111回日本皮膚科学会総会	6. 1～6. 3	4, 289
7	国際大ダム会議第80回年次例会及び第24回大会	6. 4～6. 8	1, 200
8	第63回日本東洋医学会学術総会	6. 29～7. 1	4, 000
9	第15回国際分子植物微生物相互作用学会	7. 29～8. 2	1, 000
10	比叡山宗教サミット25周年記念	8. 3～8. 4	1, 300
11	第1回国際アロマセラピー会議	8. 31～9. 2	1, 000
12	第40回日本磁気共鳴医学会大会	9. 6～9. 8	1, 400
13	第19回国際質量分析会議	9. 15～9. 21	2, 000
14	2012年国際固体素子・材料コンファレンス	9. 24～9. 27	1, 000
15	第9回科学技術と人類の未来に関する国際フォーラム (STSフォーラム)	10. 7～10. 9	900
16	第74回日本血液学会学術集会	10. 19～10. 21	5, 000
17	第66回日本臨床眼科学会総会	10. 25～10. 28	6, 000
18	ユネスコ世界遺産条約採択40周年記念シンポジウム (予定)	11. 5～11. 8	300
19	第28回京都賞授賞式・記念講演会・記念ワークショップ	11. 10～11. 12	3, 000
20	第40回日本救急医学会総会・学術集会	11. 12～11. 15	3, 500
21	第11回温室効果ガス制御技術国際会議	11. 18～11. 22	1, 600
22	第9回国際糖尿病連合西太平洋地区会議第4回AASD学術会議	11. 25～11. 27	2, 000
23	2012トーマツパートナーズミーティング	12. 5～12. 6	750
24	第19回ディスプレイ国際ワークショップ/アジアディスプレイ2012	12. 4～12. 7	1, 300

参考：過去5年間の収入・支出の推移

年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
収入	1,486	1,269	1,453	1,721
支出	1,455	1,266	1,448	1,721
剰余金	31	3	5	0

単位：千円

平成23年度(1年間)
1,453
1,535
-82

Ⅲ. 自主企画事業について

(対象期間 H23. 1. 1～H23. 12. 31)

1. 時局講演会

(財)日本総合研究所理事長の寺島実郎氏を迎えて、「世界の潮流と日本の進路」と題する講演会を、平成23年2月11日に開催しました。

2. 宝松庵茶会

恒例の市民参加によるお茶会を、春と秋、茶室「宝松庵」にて、裏千家今日庵をはじめ、関係各位のご協力のもと開催しました。

春の茶会 平成23年 4月3日 (日)

秋の茶会 平成23年11月27日 (日)

3. 乾杯の夕べ

恒例となりました「乾杯の夕べ」を、本年度は「感謝の夕べ」と銘打って、ベトナムをテーマとして平成23年8月17日(水)と18日(木)の両日に開催しました。

4. 囲碁名人戦

日本棋院との共催により、第36期囲碁名人戦第2局を、9月14日(水)と15日(木)の両日、茶室「宝松庵」にて実施しました。

VI. 庶務事項

1. 施設の管理再委託契約

当財団法人と京都市が締結している管理再委託契約の施設の内容は次のとおりです。

(注：国と京都市との間で国有財産管理委託契約を締結)

区 分	種 目	名 称	数 量	価 格
土 地	宅 地		156,096.77 m ²	5,428,982,551 円
立 木 竹	樹 木		798 本	26,235,794
建 物	事務所建	会 議 場	<u>14,693.54 m²</u> 37,786.48	2,885,687,453
	事務所建	展 示 場	<u>4,860.69</u> 7,976.58	596,311,736
	雑屋建	車 寄	<u>126.11</u> 126.11	9,813,200
	雑屋建	ポンプ室	<u>189.93</u> 189.93	16,658,006
	雑屋建	渡廊下 (連絡歩廊)	<u>449.76</u> 449.76	60,061,412
	雑屋建	渡廊下 (連絡歩道橋)	<u>188.24</u> 188.24	68,125,239
	雑屋建	渡廊下 (既設地下鉄出入口上屋)	<u>9.33</u> 9.33	5,421,937
	車庫建	ごみ容器置場	<u>16.43</u> 16.43	511,484
		計	<u>20,534.03</u> 46,742.86	3,642,590,467
	工 作 物			一 式
合 計				16,298,322,501

(注) 当年度末の内容は、前年度末と比べ何ら変更はありません。

2. 休館日

本年度中に、次の日を休館しました。

平成23年 8月 2日 (火) ～ 4日 (木)	3日間	節電休館
平成23年11月21日 (月) ～22日 (火)	2日間	設備点検
平成23年12月28日 (水) ～31日 (土)	4日間	年末休館

3. 事務局に在職する職員の数、次のとおりです。

区 分	男	女	合 計	前年度
館長 (常任理事)	1	0	1	1
事 務 局 長	1	0	1	1
副 事 務 局 長	1	0	1	1
総 務 部	6	3	9	10
施 設 部	11	0	11	12
営 業 部	5	12	17	17
調 査 役	0	0	0	1
業務支援専門員	5	0	5	3
広 報 企 画 室	1	1	2	1
合 計	31	16	47	47

(平成23年12月末日現在)

(注) 職員の数には、正職員(40名)の他、契約職員および派遣職員が含まれます。

Ⅱ. 会場の使用状況

1. 国際会議の実績

区 分	平成23年度 *	平成22年度	前年比
開 催 件 数	57 件	52 件	5 件
参 加 人 員	65,841 人	95,477 人	△ 29,636 人
使 用 料 収 入	799,760 千円	1,037,489 千円	△ 237,729 千円
1 件あたり参加人員	1,155 人	1,836 人	△ 681 人
1 件あたり使用料収入	14,031 千円	19,952 千円	△ 5,921 千円

* 対象期間 H23.1.1～H23.12.31

2. 国内会議の実績

区 分	平成23年度 *	平成22年度	前年比
開 催 件 数	202 件	193 件	9 件
参 加 人 員	136,796 人	164,367 人	△ 27,571 人
使 用 料 収 入	515,193 千円	534,574 千円	△ 19,381 千円
1 件あたり参加人員	677 人	852 人	△ 175 人
1 件あたり使用料収入	2,550 千円	2,770 千円	△ 220 千円

* 対象期間 H23.1.1～H23.12.31

3. 会議等の内容からみた開催件数

区 分	国際会議	国内会議等	計 *	前年度
政治・経済・法律	8 件	8 件	16 件	12 件
科 学 ・ 技 術	16	11	27	12
医 学	19	35	54	58
産 業	3	38	41	24
芸術・文化・教育	3	52	55	41
社 会	4	10	14	9
運 輸 ・ 観 光	0	1	1	4
社 交 ・ 親 善	0	21	21	13
宗 教	0	4	4	6
ス ポ ー ツ	1	7	8	1
そ の 他	3	15	18	65
計	57	202	259	245

* 対象期間 H23.1.1～H23.12.31

4. 月別にみた開催件数及び開催日数

月 別	開 催 件 数			開 催 日 数		
	国 際 会 議	国 内 会 議 等	計	国 際 会 議	国 内 会 議 等	計
23年 1 月	3 件	11 件	14 件	10 日	15 日	25 日
2 月	7	17	24	15	21	36
3 月	3	18	21	10	18	28
4 月	5	19	24	14	21	35
5 月	3	14	17	11	17	28
6 月	7	15	22	19	21	40
7 月	6	20	26	13	29	42
8 月	3	15	18	9	26	35
9 月	6	10	16	16	12	28
10 月	6	18	24	13	22	35
11 月	4	28	32	13	33	46
12 月	4	17	21	15	19	34
計 *	57	202	259	158	254	412
前年度	52	193	245	162	246	408

* 対象期間 H23.1.1～H23.12.31

5. 主の会場の稼働日数

会 場 名	平成23年度 *	平成22年度
大 会 議 場	151 日	178 日
会 議 場 A	150 日	194 日
会 議 場 B - 1	132 日	162 日
会 議 場 B - 2	117 日	143 日
会 議 場 C - 1	99 日	130 日
会 議 場 C - 2	119 日	149 日
会 議 場 D	139 日	187 日
イベントホール	143 日	155 日
アネックスホール	116 日	198 日
合 計	1,166 日	1,496 日

* 対象期間 H23.1.1～H23.12.31

会 場	平成23年度 *		平成22年度	
	稼働日数	稼働率	稼働日数	稼働率
大 会 議 場	151 日	48.7%	178 日	50.4%
会 議 場 A	150 日	49.0%	194 日	55.0%
イベントホール	143 日	45.5%	155 日	43.9%
アネックスホール	116 日	38.5%	198 日	56.1%
4会場平均稼働率		45.4%		51.4%

* 対象期間 H23.1.1～H23.12.31

稼働率 = 稼働日数 ÷ (365日 - 休館日・工事日)

6. 開催件数における国際・国内会議の比率

年 度	国 際 会 議		国 内 会 議		合 計 件 数
	件 数	比 率	件 数	比 率	
平成22年度	52 件	(21.2%)	193 件	(78.8%)	245 件
平成23年度 *	57 件 **	(22.0%)	202 件	(78.0%)	259 件

* 対象期間 H23.1.1～H23.12.31

**内、JNTO基準は48件

注：JNTO(国際観光振興機構)国際会議統計基準 以下の1～4の条件をすべて満たす会議を、「国際会議」定義します。 1.主催者：国際機関・国際団体(各国支部を含む)又は、国家機関・国内団体 (各々の定義が明確ではないため、民間企業以外は全て。) 2.参加者総数：50名以上 3.参加国数：日本を含む3カ国以上 4.開催日数：1日以上
--

IV 理事会及び役員事項

1. 理事会

会議の区分	開催の日時場所	会 議 の 目 的 事 項
第93回 理 事 会	平成23年5月30日 午前10時～11時 会館C-2会議室	<p>第1号議案 財団法人国立京都国際会館平成23年度事業計画・収支予算案の件 本件は原案のとおり可決されました。</p> <p>第2号議案 公益財団法人国立京都国際会館平成23年度事業計画・収支予算案の件 本件は原案のとおり可決されました。</p> <p>第3号議案 財団法人国立京都国際会館平成23年度事業報告書・財務諸表の件 本件は原案のとおり可決されました。</p> <p>第4号議案 常任理事、副理事長の選任について 天江喜七郎氏の常任理事選任、村田純一氏の副理事長選任が可決されました。</p> <p>第5号議案 東京事務所開設について 当公益財団法人の東京事務所を東京都千代田区永田町2-14-2山王グランドビル4階内「NPO法人STSフォーラム 理事長 尾身幸次」内に開設することが可決されました。</p> <p>第6号議案 資金運用規程の制定について 本件は原案のとおり可決されました。</p> <p>第7号議案 寄附金等取扱規則の制定について 本件は原案のとおり可決されました。</p> <p>第8号議案 評議員会の招集について 下記の通り評議員会を開催することが可決されました。 日時：平成23年6月17日 午後4時～午後5時30分 場所：国立京都国際会館 目的事項：財団法人国立京都国際会館平成23年度事業報告財務諸表の件、評議員選任の件</p>
第94回 理 事 会	平成23年11月25日 午前11時～12時 会館157会議室	<p>第1号議案 平成23年度補正予算案の件 本件は原案のとおり可決されました。</p> <p>第2号議案 平成24年度事業計画案・収支予算案の件 本件は原案のとおり可決されました。</p> <p>第3号議案 災害時における会館施設の提供に関する京都市との協定書の締結の件 本件は原案のとおり可決されました。</p>

2. 役員氏名

役職名	氏名	役職名	氏名
理事長	稲盛和夫	理事	堀木エリ子
副理事長	村田純一	理事	堀場
常任理事	天江喜七郎	理事	松下正幸
理事	石田隆一	理事	松本紘生
理事	井上正幸	理事	山岡義啓
理事	上村多恵子	理事	山田憲
理事	門川大作	監事	大宮
理事	立石義雄	監事	西田
理事	谷野作太郎		

理事長1名 副理事長1名 常任理事1名 理事12名 監事2名 計17名 (平成23年12月末日現在)

V 評議員会及び評議員事項

1. 評議員会

会議の区分	開催の日時場所	会議の目的事項
第20回 評議員会	平成23年6月17日 午後3時～4時30分 会館C-2会議室	第1号議案 財団法人国立京都国際会館平成23年度事業報告書 収支決算の件 本件は原案のとおり可決されました。 第2号議案 評議員選任の件 太田昇氏を評議員に選任することが可決されました。
書面による 決議	平成23年10月25日	議案 評議員選任の件 間宮忠敏氏の辞任と、後任として松山良一氏を評議員に選任 することが可決されました。

2. 評議員の異動

評議員氏名	異動年月日
太田 昇	平成23年6月17日就任
間宮 忠敏	平成23年10月31日辞任
松山 良一	平成23年11月1日就任

3. 評議員氏名

役職名	氏名	役職名	氏名
評議員	明石 康	評議員	齊藤 修
評議員	阿南・ウァーシニア・史代	評議員	齊藤 行
評議員	池坊 由紀	評議員	坂本 吉弘
評議員	井村 裕夫	評議員	千宗 容
評議員	内海 善雄	評議員	千手 嶋
評議員	大倉 治彦	評議員	寺島 実一郎
評議員	太田 昇	評議員	中尾 一重
評議員	小倉 和夫	評議員	服部 川
評議員	柏原 康夫	評議員	星 茂
評議員	茅 陽一	評議員	松山 良
評議員	木下 博	評議員	吉村 彰
評議員	グレン・S・フクシマ	評議員	
評議員	小村 武		

評議員計25名

(平成23年12月末日現在)

